

世界最大径間に用いられた 爆着式引留金具と添線式ダンパ

ノルウェイ水資源電力省(局)は、フィヨルド湾江を横断する4572mの世界最大径間の架線工事を行なった。建設にあたり特別な問題を提供し、数多くの困難な作業工程を体験しているが、成功裡に実施され、今後の長径間工事に応用し得るものである。(Electrical World, May 15, 1977)

この中で、引留金具には油圧機器は使用せず、爆着工法を採用して作業の簡略化を計っている。また、電線の振動防止装置としては、添線式ダンパを採用し万全を期している。これらは、いずれも当社製品の原形をなすもので、前者は、EX式圧縮形引留クランプとしてノルウェイ・ラウフォス社と当社スペース技術とのクロスライセンスにより技術導入し国産化しており、後者は、クリスマスツリー形ダンパとして、特殊径間用ダンパを提供している。

